

英語・英語活動委員会

1 研究テーマ

英語や異文化に対して、興味関心を高めながら、意欲的に取り組む英語活動のあり方

2 研究課題

- (1)英語活動とはなにかとらえ、目指す子供の姿、基本的な考えを定義すること。
- (2)児童の英語への思いや実態を把握し、カリキュラムを作成すること。
- (3)有効な活動の極め出しと1時間の授業構成。

3 指導の実際

- (1)英語活動について、文部科学省の実践の手引き・先進校の資料などに学び、英語活動とは何かをとらえ、目指す子供の姿、基本的な考えをまとめた。

- ①英語活動とは、総合的な学習の時間の「国際理解教育」の一環として扱う英会話のことである。
- ②森上小学校では英語活動で目指す子供の姿を、以下の3点とした。
 - 「英語は、楽しい」と感じ、積極的に英語に関わろうとする子ども
 - 恥ずかしがったり、間違えを恐れたりせず、進んでコミュニケーションをはかろうとする子ども
 - 外国の生活や文化に興味関心を深め、日本との共通点や相違点を見つけながら、自他国の文化それぞれを大切にすることを養い、共に生きようとする国際感覚をもつ子ども
- ③授業を構成する基本的な考えは次のとおりである。
 - a. 担任が中心にすすめる授業 b. 子どもの知りたいこと・したいこと中心の授業 c. 音声中心の授業 d. 活動中心の授業 e. 異文化に触れる
 - f. 活動を変えながら、繰り返し行う
 - g. 担任は、授業での指示、説明などなるべく英語を使って行う。

- (2)児童の英語活動への思いや実態を把握し、年間計画、取り扱う内容を決めた。

子ども達が、「英語で何を話しているか知りたい」「外国の人と話せるようになりたい」という願いを持っていることを知り、児童の特性を考慮しながら、子ども達の知りたいこと、したいことを中心にキッズクラウンから基本文型を選び、年間計画・取り扱う内容を決めた。(年間計画 言語材料の系統性と活動参照)

- (3)1時間の授業構成、有効な活動を決めた。

1時間の授業の基本的な構成は以下のようにし、一つの表現に何時間かけて慣れさせていく。教師は指示や話の中に多くの表現を使い、子ども達を英語に浸らせることによって、英語のリズムを体感させる。

1.はじめのあいさつ Greetings 2.Warming up(Q and A ゲームなど)既習学習の定着 3.歌 4.新出表現との出会い 5.活動(聞くことを大切に考えた活動) 6.活動②(聞いたり話したり、使ってみることを意識した活動) 7. ALT の話(絵本の読み聞かせ、うた、ビデオの視聴) 8. 授業の振り返り 9. 終わりの挨拶

4 この事例から明らかになったこと

- 英語活動の目標、目指す子どもの姿がはっきりした。
- 児童の特性に合った五感に訴える活動を大事にし、子どもたちが英語をつかった楽しい経験を積み重ねていくことで、英語に積極的にかかわろうとする子供の姿が見られた。
- 挨拶、ゲーム、TPR、チャンツ、歌、絵本の読み聞かせ、ビデオの視聴、ALTのお話などの短時間の活動を組み合わせ、授業を構成することによって、子ども達は集中して英語に浸ることができる。また、教師側もどの活動からでもとりかかることができ、有効である。
- 英語や外国に興味を持つ児童が増え、外国の先生に来ていただけることを喜んだり、積極的にかかわったりする姿が見られた。
- 子ども達の聞く力にあまり差がないことがわかり、「聞いて行動する」「聞いて作業する」ことが英語への抵抗を少なくする糸口になることがわかった。
- 普段の生活でコミュニケーションに消極的な子ども達にも英語の魅力でコミュニケーションしようとする気持ちや機会をもたせることができる。
- ALTの力の大きさも実感したが、担任がALTなしで進めていく方向も見えた。
- わからせようと思わず、「だいたいわかる。」「なんとなくわかる」「わかって動けた」という感覚を大切に、積み重ねていくことで、子ども達はだんだんわかるようになっていく。
- 小・中学校の先生方と交流ができ、小学校での英語活動の考え方を伝えたり、現在の中学校での英語の授業の方向を教えていただいたり、これから考えていかなければいけない連携についても考えることができた。

5 来年度への課題

- (1)実際に誰もが英語活動の授業を行えるものにするために、さらに計画の見直し、授業の枠組み、有効な活動の研究をしていく必要がある。
- (2)取り扱う内容や飽きずに聞かせる方法・有効な教具・教材について、研究をしていく必要がある。

6 その他

○研究授業

11月2日(火)

学校名 森上小学校 6年仁組「どこにあるの？」

授業者 鶴田恵市教諭 ALTリノ・マローネ

指導者 清泉女学院大学教授 渡邉時夫教授